

創造



自律

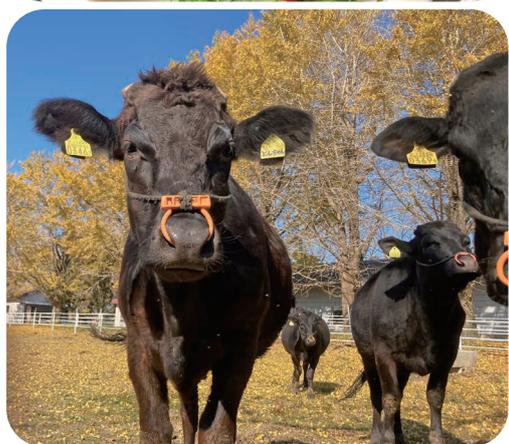
2025年 学校案内



宮崎県立農業大学校

Miyazaki Agricultural Junior College

協調



学校
教育方針

校訓「自律・創造・協調」を基調とした教育をとおりて、
農業県・宮崎における実践農業の教育機関として、
将来、本県の農業を担う人材を育成する

農業大学校が目指す人材像

01

時代の流れを的確に捉え、持続可能な経営と新たな農業に意欲的にチャレンジする農業経営者

02

グローバルな視点を持って未来を切り開くとともに、郷土愛を持って地域の創生・発展をけん引するリーダー

M IYAZAKI
A GRICULTURAL
J UNIOR
C OLLEGE

「生産する力(生産技術)」 をはぐくむ

- 講義、演習、農場実習で「生産する力」の定着を図る
- インターンシップ、自主企画研修等の校外学習で「生産する力」の向上を図る

「経営する力(経営スキル)」 をはぐくむ

- 農業経営科目の講義や農場実習で「経営する力」の定着を図る
- 校外学習や学生出資会社(アグリカレッジひなた)で「経営する力」の向上を図る

「課題を解決する力(課題を見つけ 計画的な取り組みで解決する力)」 をはぐくむ

- 専攻実習における「プロジェクト学習」で「課題を解決する力」の定着を図る
- 「地域連携型プロジェクト学習」で「課題を解決する力」の向上を図る

※地域連携型プロジェクト学習とは…
高校、農家・法人、関係機関等とのコンソーシアム方式による連携・共同プロジェクト学習

社会性をはぐくむ

- 農家・農業法人における研修、企業連携新商品開発、流通・販売学習をとおして、地域社会において積極的に活動し、「ネットワークを構築する力」の定着を図る
- 「地域連携型プロジェクト学習」をとおして「社会で活躍する力」の向上を図る
- 学生自治会活動や寮生活をとおして「コミュニケーション力」や「協調性」の向上を図る

日本有数の農業県
南国宮崎のフィールドで
農業を学ぶ

夢に向かって！

「次世代の経営者」を育成するカリキュラム

卒業と同時に「宮崎県農業士」と「専門士」の称号が授与されます。

また、4年制大学編入の受験資格が得られます。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

総合実習

専攻決定

専攻実習

各学科で全専攻を回り、実習体験をします。

希望する専攻に分かれて、専門的な学習や実習を行います。

基礎知識等を学ぶ！一般教養科目



入学式

学生交流会

新入生を歓迎するために球技大会などを開催し、学生同士の仲を深めます♪



九州地区農業大学校親善体育大会

九州地区の農大生が集まる大会で、日頃の練習の成果を発揮します。



インターンシップⅠ

県内の農家や農業法人にて、約5日間実践的な農業経営を学びます。



自主企画研修

進路を見据えた4週間の長期研修です。研修先の選定から研修計画まで、すべて学生自ら行います。

大型特殊免許 (農耕用限定)講習

1年次に学校内にある練習コースで、トラクターの運転技能を学びます。



資格

- ・大型特殊免許(農耕用限定)
- ・ドローンオペレーター
- ・食品衛生責任者
- ・土壌医検定

1年前期

1年後期



特色ある学習内容

●スマート農業やフードビジネスを意識した農畜産物や加工品の生産実習

●学生が主体的に経営する模擬会社をととした流通・販売の実習

●地域と連携した教育の展開

- ①高大連携事業(交流学习・体験入学)
- ②地域連携型プロジェクト学習
- ③関係企業等との連携による新商品開発・販売展開

●地域の教育力を活用した教育の展開

- ①多様な経営者や専門家を講師に招いての「アグリビジネス」の学習
- ②校外研修・学習(インターンシップ、自主企画研修 等)

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

専門知識・技術を深める！専門科目



法人マッチング

県内外の農業法人・企業が一堂に会した法人マッチングを開催します。



インターンシップⅡ

農業関係団体等で、生産分野以外の就業体験を約5日間行います。



農大祭

学生が丹精込めて育てた農畜産物や加工品の販売を行います。学生たちが力を合わせて、計画から運営まで行います。

プロジェクト発表会

各専攻で取り組んだプロジェクト研究成果を発表します。成績優秀者は九州大会へ出場します。



国内外研修

国内外の先進事例をファームステイや視察研修等を通して、幅広い視点を身につけます。

卒業式



資格

- ・ 削蹄師
- ・ 家畜人工授精講習会
- ・ 危険物取扱者
- ・ 農業簿記検定
- ・ けん引免許(農耕用限定)

2年前期

2年後期

農学科

募集定員 40名

作物専攻

果樹専攻

野菜専攻

茶専攻

花専攻

フードビジネス専攻

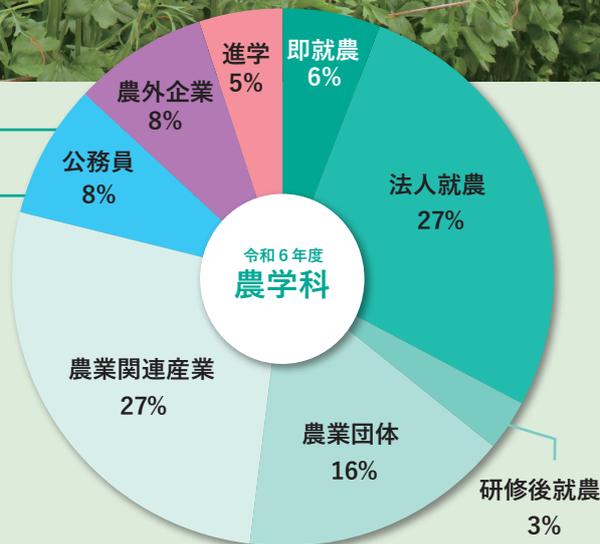


6つの専攻・教育の特徴

本県で栽培されている品目を取り上げ、栽培管理技術、商品化技術、農産物の加工・販売等についての実践学習を通して生産技術と経営スキルを身に付け、将来、本県農業に夢を持って意欲的に取り組む人材を育成します。

卒業後の進路

- 宮崎県農業協同組合
- 九州沖縄農業研究センター
- ヤンマーアグリジャパン(株)
- (株)コメリ
- (有)サンエク
- 佐賀大学、南九州大学 など



環境制御装置付ハウス

スマート農業の実践として、作物の生育に応じたハウス内の環境について、学生がICT機器を活用して管理しています。



GPS付トラクター

令和2年に導入されました。企業の方に実際、操作方法を学び、作物の作付や圃場の耕運に活用しています。



出荷調整室

野菜・果樹専攻が出荷調整を行う農産物取扱施設で、GAPに対応しています。ひなたGAP、ASIAGAPを取得しています。

作物専攻



穀物やイモ類、露地野菜などの土地利用型作物の栽培技術と経営について学びます。

学習科目



作物の栽培管理、病害虫基礎、露地野菜の栽培管理、作物の流通・販売、先進農業事例研究など

栽培内容

早期水稻、原料用甘藷、キャベツ、白菜、大根など

野菜専攻



施設野菜の栽培技術と経営について学びます。

学習科目



施設野菜の栽培管理、病害虫基礎、園芸施設と環境、施設野菜の流通・販売、先進農業事例研究など

栽培内容

ピーマン、メロン、ミニトマト、いちご、きゅうりなど

花専攻



切り花や鉢物の栽培技術と経営について学びます。

学習科目



花きの栽培管理、病害虫基礎、園芸施設と環境、花きの流通・販売、先進農業事例研究など

栽培内容

ランタナ、スイートピー、ダリア、ポインセチアなど

果樹専攻



落葉果樹や常緑果樹、熱帯果樹等の栽培技術と経営について学びます。

学習科目



果樹の栽培管理、病害虫基礎、園芸施設と環境、果樹の流通・販売、先進農業事例研究など

栽培内容

マンゴー、ライチ、みかん、日向夏、ぶどうなど

茶専攻



茶の栽培・加工技術と経営について学びます。

学習科目



茶の栽培管理、病害虫基礎、茶の加工、茶の文化・歴史、茶の流通・販売、先進農業事例研究など

※実習は宮崎県総合農業試験場茶業支場でしています。

栽培内容

茶(煎茶、釜炒り茶、半発酵茶、発酵茶)など

フードビジネス専攻



農産物の生産から加工、流通、販売、消費について総合的に学びます。

学習科目



食品製造、マーケティング、フードビジネス、食品基礎実験、食品衛生管理、食品の機能性など

実習内容

焼き菓子類、パン、乳製品、肉加工品など(栽培実習あり)

農畜両学科から選択可能です!

ASIAGAP等について

農学科は、以下のとおりGAP認証を受けており、学生が主体となって取り組んでいます。

・ひなたGAP(宮崎県が定める基準)・・・2018年11月認証 認証取得品目:トマトやきゅうり、いちごなど青果物9品目、米や小麦の穀物2品目

・ASIAGAP・・・2020年1月認証 認証取得品目:トマトやメロン、すいか、マンゴーなど青果物8品目

在学中に取得が可能な資格

作物専攻・野菜専攻・花専攻・果樹専攻・茶専攻・フードビジネス専攻

日本農業技術検定(2、3級)・農業簿記検定(2、3級)・日商簿記(3級)・車両系建設機械技能講習・大型特殊(農耕用)免許・けん引(農耕用)免許・ガス溶接技能講習・アーク溶接特別教育・ボイラー取扱技能講習・危険物取扱者(乙種)・毒劇物取扱責任者・玉掛け技能講習・移動式小型クレーン技能講習・フォークリフト技能講習・ドローン検定(1、2、3級)・農業散布用ドローンオペレーター・情報処理検定(初級、2、3級)・フラワー装飾技能士(2、3級)・グリーンマスター認定試験・土壌医検定(2、3級)・食品衛生責任者・食品安全検定初級・食品表示検定試験初級

畜産学科

募集定員 25名



肉用牛専攻

酪農専攻

養豚専攻

フードビジネス専攻

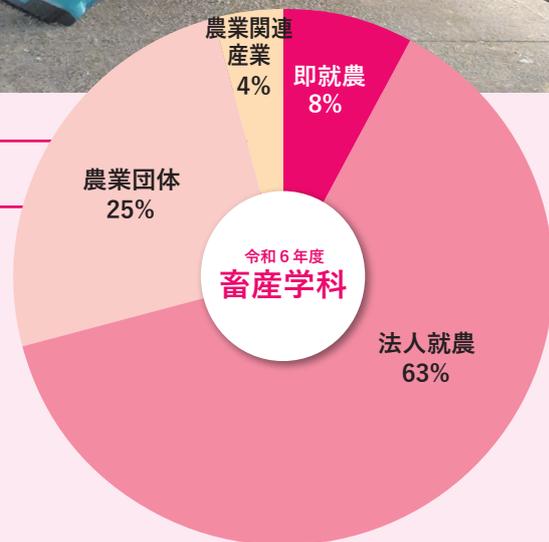


4つの専攻・教育の特徴

本県で主に飼養されている家畜を取り上げ、飼養管理・繁殖管理に関する技術、出荷の方法、畜産物の加工・販売等についての実践学習を通して、生産技術と経営スキルを身に付け、将来、本県畜産業に夢を持って意欲的に取り組む人材を育成します。

卒業後の進路

- 宮崎県農業協同組合
- (株)科学飼料研究所
- (株)川西牧場
- みらいグローバルファーム(株)
- (有)エムケイ商事
- 親元就農 など



ICT 機器等の活用

酪農専攻ではバルククーラーの温度管理、肉用牛専攻は発情や分娩のタイミングにICT機器等を活用して飼養管理をしています。



搾乳施設

学生が朝夕2回搾乳を行い、切碇琢磨しながら飼養管理を行っています。また、令和3年にJGAPを取得しています。



大型機械での作業

約13ヘクタールの広大な圃場で、トウモロコシやイタリアンライグラスなどの飼料作物を生産しており、学生が実際に大型機械に乗って播種・収穫作業を行います。

肉用牛専攻



肉用牛の飼養管理技術や繁殖・肥育経営について学びます。

学習科目



家畜の栄養と飼料、家畜の育種と繁殖、肉用牛の飼養管理、家畜の衛生と環境、畜産繁殖技術、肉用牛・酪農経営概論

飼育内容

繁殖牛(黒毛和種)55頭
肥育牛(黒毛和種)40頭

酪農専攻



乳牛の飼養管理技術や酪農経営について学びます。

学習科目



家畜の栄養と飼料、家畜の育種と繁殖、乳牛の飼養管理、畜産繁殖技術、肉用牛・酪農経営概論、酪農経営の営農計画など

飼育内容

乳用牛 20頭

養豚専攻



豚の飼養管理技術や養豚経営について学びます。

学習科目



家畜の栄養と飼料、家畜の育種と繁殖、豚の飼養管理、畜産繁殖技術、養豚経営概論、養豚経営の営農計画など
※実習は宮崎県畜産試験場川南支場で行います。

JGAPについて

畜産学科では2021年12月に、乳用牛・生乳、肉用牛においてJGAP(家畜・畜産物)の認証を受けました。宮崎県内では9農場目、教育期間では宮崎大学について2校目の認証取得になります。

JGAPとは…農家やJA等生産者団体が活用する農場管理基準であり、家畜衛生や飼養管理(アニマルウェルフェア)、環境保全など113項目にも及びます。

在学中に取得が可能な資格

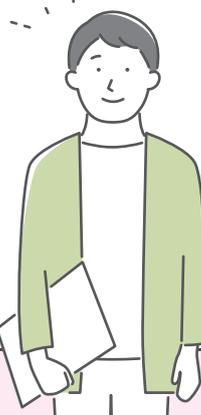
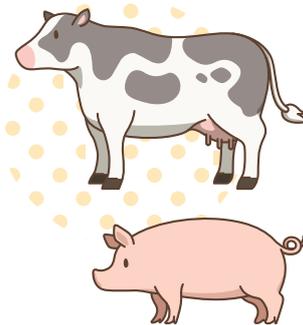
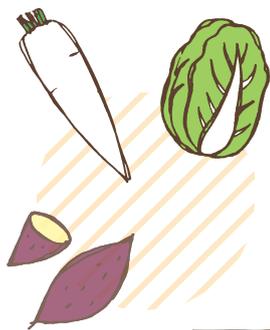
肉用牛専攻・酪農専攻・養豚専攻・フードビジネス専攻

日本農業技術検定(2、3級)・農業簿記検定(2、3級)・日商簿記(3級)・車両系建設機械技能講習・大型特殊(農耕用)免許・けん引(農耕用)免許・ガス溶接技能講習・アーク溶接特別教育・ボイラー取扱技能講習・危険物取扱者(乙種)・毒劇物取扱責任者・玉掛け技能講習・移動式小型クレーン技能講習・フォークリフト技能講習・ドローン検定(1、2、3級)・農業散布用ドローンオペレーター・情報処理検定(初級、2、3級)・家畜人工授精師・2級認定牛削蹄師・家畜体内受精卵移植師・家畜商・食品衛生責任者・食品安全検定初級・食品表示検定試験初級

アグリカレッジひなた

アグリカレッジひなたは、学生が出資する模擬会社で、会社経営に関する基礎知識を身につけることを目的としています。

学生が社長や会計などを務め、地域内の契約店舗での販売や農大市・農大祭、各イベント等において、販売・接客について学びます。



農大生のとある1日



寮生



通学生



6:00 起床

7:20~ 通学

7:00 起床

7:30 朝食

8:30 登校

ある1日の時間割

8:50~9:50 農業簿記基礎

10:00~11:00 英会話 I
11:10~12:10 外部講師等を招いて、
社会人として必要な
一般教養を身につけます。

お昼休み

13:10~14:10 総合実習

14:20~15:20 各専攻を回り、栽培や
家畜の飼育について、
基本的な技術を学びます。

15:30~16:30



8:40 朝礼

8:50~12:10
1~3限目

12:10~13:10
昼休み

13:10~16:30
4~6限目



23:00
就寝

19:00 風呂

17:00 夕食

16:40 帰寮

17:00~18:00 通学



レストラン

ご飯と牛乳は農大産です。



お風呂

実習の汗をお風呂で流します。



寮の居室

寮の部屋は2人部屋です。



寮ロビー

共用スペースで寮文庫や雑誌を読むことができます。



保健室

ケガだけでなく、悩み相談もできます。



草原教室

農大で一番大きな教室です。全校集会や自治会総会など全員が参加する行事が行われます。



図書室

専門書が多数そろっています。



体育館

入学式や卒業式、球技大会が行われます。

宮崎農大のアピールポイント

将来に活かせる資格・免許が取得できます!



多種多様な資格取得

大型特殊免許(農耕用限定)について、本校には教習用コースを完備しており、1年次に授業の一環として取得できます。また、2年次にはけん引免許(農耕用限定)も取得することができます。

農薬散布用ドローンについて、講義や実技研修を通してオペレーター資格を取得できます。また、各専攻の実習等で操縦することもあるため、ドローン操作に必要な知識や技術を習得できます。

他にも、2年間を通して、将来に活かせる資格・免許が自分の努力次第で多数取得できます。

※大型特殊免許(農耕用限定)を取得するには、普通運転免許が必要となります。

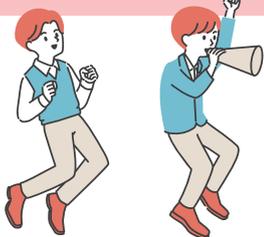


GAPへの取り組み

講義や実習を通してGAPに取り組んでおり、認証審査の際は学生自ら関係書類の作成や質疑応答を受けています。また、農学科園場にはGAPに対応した農産物取扱施設も整備しています。

農学科では、ひなたGAP(青果物9品目、穀物2品目)とASIAGAP(青果物8品目)の認証を受けています。畜産学科では、JGAP(肉用牛・乳用牛・生乳)の認証を受けています。

他にも2年間を通して、卒業後に活かせる資格の取得を目指します。



先輩たちのVOICE



農学科2年 果樹専攻

池田 翔馬 (宮崎日本大学高校出身)

私は高校生の時に都農町産のトマトを食べて甘く美味しかった事に感動し、普通科高校から農業大学校に進学しました。入学当初は作物をどう育てるのかわからず不安でしたが、入学してみると不安は吹き飛び、今は果樹専攻で県特産品であるマンゴーを栽培しています。毎日新鮮な気持ちで学べ、楽しい学校生活を送っています。



畜産学科2年 肉用牛専攻

児玉 久夏流 (宮崎県立都城農業高校出身)

私は高校時代に全国和牛能力共進会を見て、畜産に興味を持ち、農業大学校へ入学しました。日々の講義や実習で飼養管理等に励み、畜産技術や知識の向上に努めています。また、将来的に和牛一貫経営をしたいため、削蹄師や人工授精師など活かせる資格の取得にも積極的に取り組んでいます。



畜産学科2年 フードビジネス専攻

福田光希 (岡山県立高松農業高校出身)

私は高校で養豚を専攻し加工を学んでいる中、もっと6次産業や専門的な食品加工について学びたいと思い、宮崎県立農業大学校のフードビジネス専攻へ進学しました。技術や知識を身につけるため、日々の実習や講義に勤しみ、大型特殊免許や食品表示検定試験といった資格取得にも力を入れています。

在学中の必要経費(2年間)

A 校納金 ① 入学金:5,650円 ② 授業料:237,600円

B 学生預金 920,000円 教材費、資格取得、寮経費、保険代、国内外研修費等を含む

A + B 1,163,250円 ※通学生は、金額が変わります

C 食費 25,000円~35,000円程度/月 1,250円/日

※経済情勢の変動により、価格改定を行う場合があります。

新規就農者育成総合対策(就農準備資金)

国の事業を活用した就農支援策が受けられます。 ※要件や審査があります。

対象者 卒業後、独立・自営就農、
または農業生産法人に就農する学生

交付額 最大150万円/年 (2年間)

お問い合わせ (一社) 宮崎県農業振興公社 TEL:0985-51-2011

奨学金制度

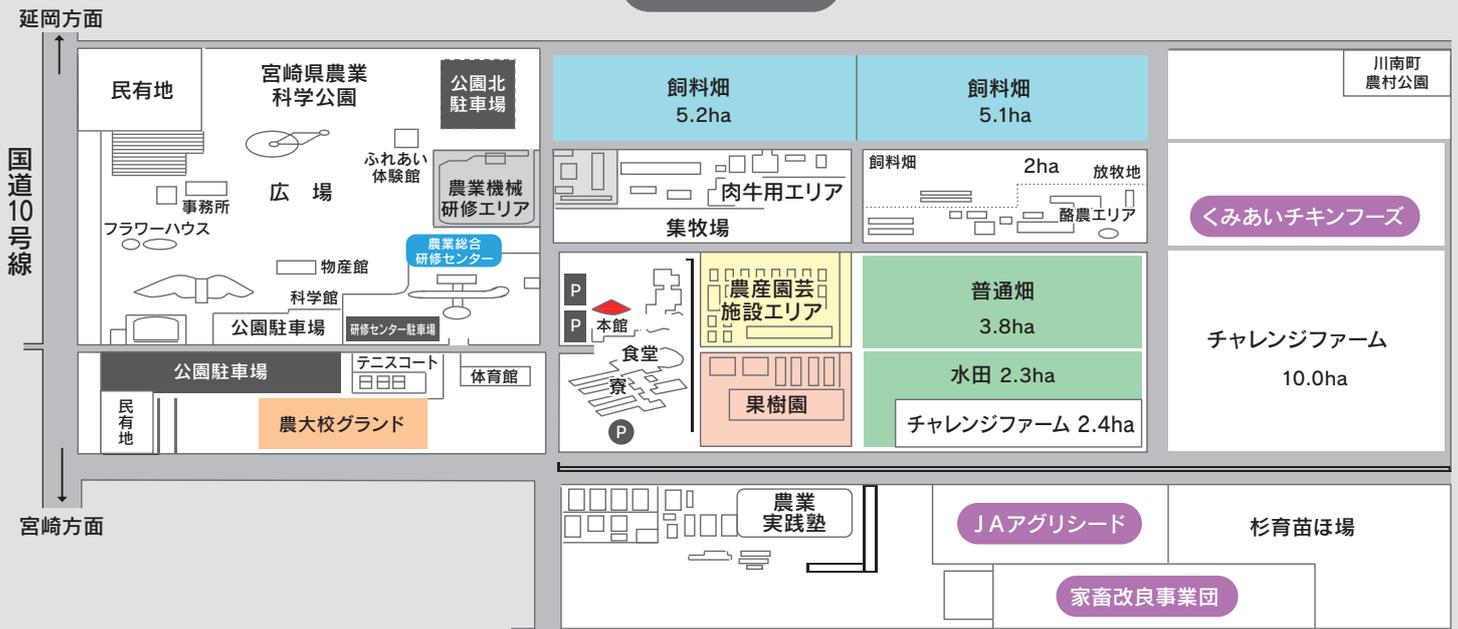
日本学生支援機構の奨学金が利用できます。

- ① 給付型奨学金
- ② 貸与型奨学金 (第一種・無利子)
- ③ 貸与型奨学金 (第二種・有利子)

※給付型の採用を受けた学生は、入学金・授業料の免除が受けられます。

お問い合わせ 日本学生支援機構 <http://www.jasso.go.jp>

配置図



交通アクセス

- JR日豊本線…高鍋駅下車 北へ8km 川南町駅下車 南へ5km
- タクシー…高鍋駅より約15分 川南駅より約10分
- バス…広域コミュニティバス 高鍋・都農線 高鍋または都農行き「農大校前」下車

宮崎県立農業大学校

〒884-0005 宮崎県児湯郡高鍋町大字持田5733番地
TEL.0983-23-0120 FAX.0983-22-2529

